

# 三菱UFJ アドバンスト・バランス (安定成長型)

## 愛称：ファーストラップ® (ちょうわ)

追加型投信／内外／資産複合

2025年2月5日に満期償還となる予定です。

作成対象期間：2023年2月7日～2024年2月5日

第9期決算日：2024年2月5日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、債券ならびにREIT、商品およびヘッジファンド等のオルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざした運用を行っております。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

#### 第9期末 (2024年2月5日)

基準価額	12,953円
純資産総額	4,172百万円
騰落率	+11.7%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

#### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

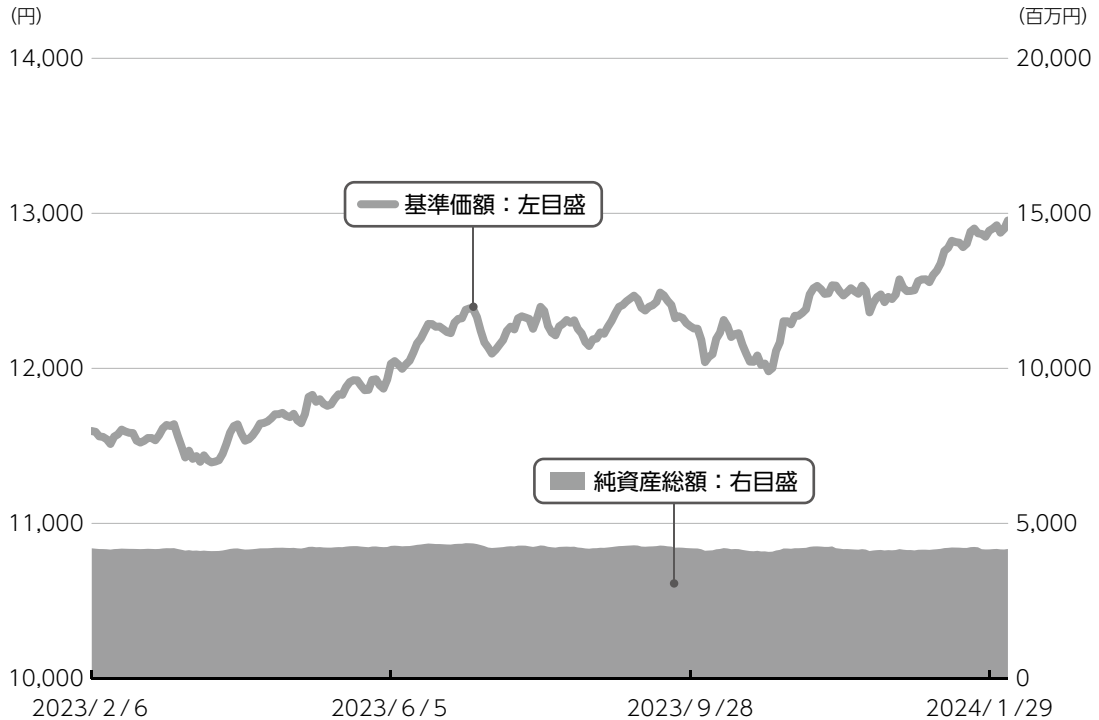
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第9期：2023年2月7日～2024年2月5日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第9期首	11,595円
第9期末	12,953円
既払分配金	0円
騰落率	11.7%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ11.7%の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

組入を行った投資信託証券のうち、実質的に投資を行った「外国株式インデックスマザーファンド」などがプラスに寄与しました。

2023年2月7日～2024年2月5日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	173	1.426	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(100)	(0.823)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(67)	(0.548)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(1)	(0.006)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(0)	(0.000)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.062	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(0)	(0.001)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(7)	(0.057)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	182	1.496	

期中の平均基準価額は、12,137円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

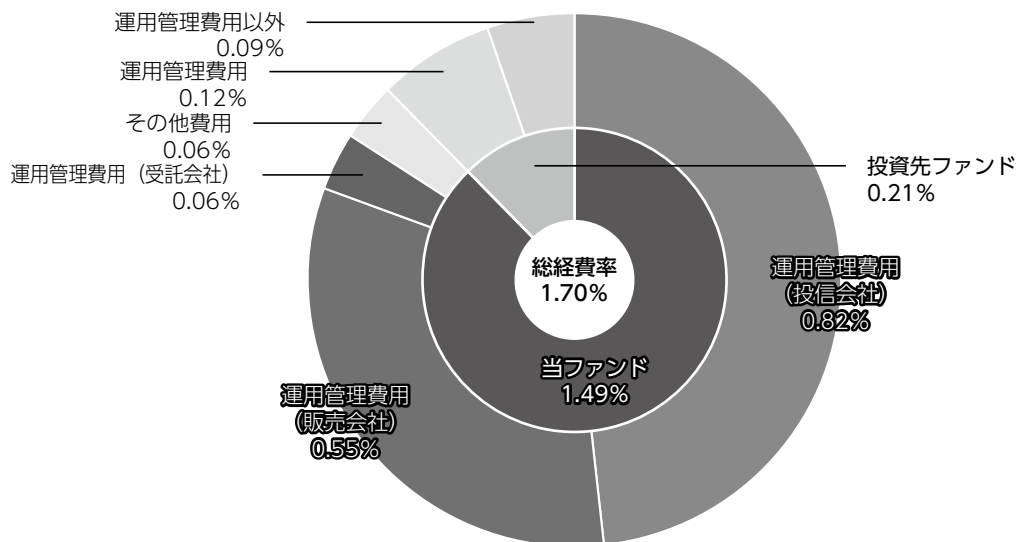
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.70%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.70
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.49
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.12
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.09

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳が開示されていない場合、運用管理費用を最大と想定し算出しております。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。

(注) 投資先ファンドの費用は、成功報酬を含む場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年2月5日～2024年2月5日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



## 最近5年間の年間騰落率

	2019/2/5 期初	2020/2/5 決算日	2021/2/5 決算日	2022/2/7 決算日	2023/2/6 決算日	2024/2/5 決算日
基準価額 (円)	10,137	10,794	11,219	11,665	11,595	12,953
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	6.5	3.9	4.0	-0.6	11.7
純資産総額 (百万円)	5,151	4,945	4,413	4,243	4,192	4,172

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第9期：2023年2月7日～2024年2月5日

**投資環境について****【株式】**

日本を含む先進国の株式市況は、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ継続への懸念や、欧米における金融システム不安などから下落する局面があったものの、米国での2024年以降の利下げが示唆されたことなどを背景に、上昇しました。新興国の株式市況は概ね上昇しました。

**【債券】**

海外先進国の債券市況は、米長期金利などが上昇したものの、債券利子収入を獲得したことなどがプラスとなり、上昇しました。国内の債券市況は下落した一方、新興国の債券市況は概ね上昇しました。

**【オルタナティブ】**

海外先進国の不動産投資信託（REIT）市況は、主要中銀が高い金利水準を長期間維持するとの見方などを背景に、米国金利の上昇局面などで下落しました。国内REIT市況は上昇しました。コモディティ価格はまちまちとなりました。原油価格は、米国や中国の景気が減速し原油需要が伸び悩むとの懸念が強まったことなどから下落しました。一方、金価格は、中東の地政学リスクの高まりなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから上昇しました。

**【為替】**

為替市場では、米ドルは、米国の金融引き締め長期化観測が広がった局面で日本との金融政策の方向性の違いが意識されたことなどから上昇しました。ユーロも対円で上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、債券ならびにREIT、商品（コモディティ）およびヘッジファンド等のオルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行います。各資産への投資割合、投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

このような方針を踏まえ、2023年5月に以下のとおり、ファンドの新規組入れ及び組入比率の変更を行いました。

国内株式においては、収益性向上を狙い、「日本株オープン「35」マザーファンド」を除外し、「クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド（ESG）」を組入れました。国内債券においては、日銀政策修正リスク等を考慮し、「三菱UFJ国内債券アクティブマザーファンド」のウェイトを引き上げ、「日本超長期国債インデックスマザーファンド」を除外しました。海外金利上昇リスクを考慮し「フランス国債7-10年ラダーマザーファンド」、「ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド」を除外しました。外国株式においては、リスク特性の改善を狙い、「三菱UFJ海外株式アクティブマザーファンド」を追加し、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュム

レーション」のウェイトを引き下げました。海外債券においては、投資手法の多様化を狙い、「海外債券マザーファンド」を組入れました。

オルタナティブにおいては、収益性向上を狙い、「日本株マーケットニュートラル・マザーファンド」のウェイトを引き上げ、「先進国ロングショート戦略マザーファンド」、「MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1（適格機関投資家向け）」、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション」のウェイトを引き下げました。

### 組入比率

期間の初めより、投資信託証券を高位に組み入れた運用を行いました。なお、当ファンドの投資信託証券への投資割合は次表をご参照ください。



## (ご参考)

## ■ 投資信託証券別組入比率表

資産クラス		投資信託証券	(%)	
			期首	期末
国		TOPIXマザーファンド	6.4	7.7
		JPIX日経400インデックスマザーファンド	1.1	0.7
内		日本株インカム・マザーファンド	2.6	3.3
		日本株オープン「35」マザーファンド	0.9	-
株		日本・小型株・ファンド・マザーファンド	1.2	1.4
		日本株最小分散インデックスマザーファンド	1.9	2.2
式		ジャパン・アクティブ・マザーファンド	0.9	1.2
		日本株ESGアクティブマザーファンド	0.9	1.1
外		JAPANクオリティ150インデックスマザーファンド	0.7	1.0
		ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド(※2)	0.8	0.9
国		クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド(ESG)(※2)	-	2.6
		ペイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション	1.9	0.9
株		シュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション	0.5	0.6
		外国株式インデックスマザーファンド(※1)	7.4	8.9
株		好配当海外株マザーファンド(※1)	2.0	3.5
		先進国株式最小分散インデックスマザーファンド(※1)	1.0	1.8
式		先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド(※1)	1.8	2.5
		先進国株式ESGインデックスマザーファンド(※1)	0.7	0.7
内		三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド(※1)	-	1.2
		グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)(※3)	2.2	2.2
国		日本債券インデックスマザーファンド	4.6	5.4
		三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	4.7	9.5
内		日本超長期国債インデックスマザーファンド(※2)	2.2	-
		先進国高格付国債マザーファンド	0.5	0.4
債	ヘッジ付 外国債券	ショートデュレーション円インカムマザーファンド	5.9	6.0
		MUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド(※1)	1.1	2.4
外	国債	フランス国債7-10年ラダーマザーファンド(※1)	0.4	-
		ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド(※1)	0.4	-
外	債券	マッコリー グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>(FOFs用)(適格機関投資家限定)(※4)	3.3	3.3
		外国債券インデックスマザーファンド(※1)	6.2	6.6
オ	ル	海外債券マザーファンド(※1)	-	0.6
		新興国債券インデックスマザーファンド(※1)	0.4	0.4
タ	ナ	グローバル社債ファンドT(適格機関投資家専用)(※5)	3.3	3.6
		東証REIT指数マザーファンド	1.8	1.9
テ	イ	MUAM G-REITマザーファンド	1.9	2.1
		コモディティ	コモディティインデックスマザーファンド	1.0
ブ	ファンド	日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	1.3	3.5
		先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	7.3	1.0
		ペイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション	7.3	2.9
		MUIジャジメンタルL/S「バランス型」ファンド1(適格機関投資家向け)(※6)	8.4	2.6

(注) 比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

(注) 国内債券には、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る「ヘッジ付外国債券」を含めています。

- ※1 アドバンスト・バランスⅡ(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。
- ※2 アドバンスト・バランスⅣ(FOFs用)(適格機関投資家限定)を通じて組入を行います。
- ※3 グローバル・フランチャイズ・マザーファンドⅡに投資を行います。
- ※4 マッコリー グローバル・インフラ債券マザーファンドに投資を行います。
- ※5 グローバル社債マザーファンドに投資を行います。
- ※6 MUIジャジメンタルL/S「バリュー」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「インフラ資源」マザーファンド、MUIジャジメンタルL/S「テック」マザーファンドに投資を行います。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第9期 2023年2月7日～2024年2月5日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,991

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

日本を含む世界各国の株式、債券ならびにREIT、コモディティおよびヘッジファンド等のオルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行います。

運用につきましては、安定性と収益性のバランスを重視します。

各資産への投資割合、投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)

## ▶ その他

- ・当ファンドは信託約款に基づき、2025年2月5日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。
- ・当ファンド（三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定成長型））の投資対象であるマザーファンド（日本株インカム・マザーファンド）につきまして、下記のとおり組入銘柄選定プロセスの変更を予定しておりますので、お知らせいたします。

### 変更予定日

2024年5月3日（目論見書定例改版日）

### 変更の理由・背景

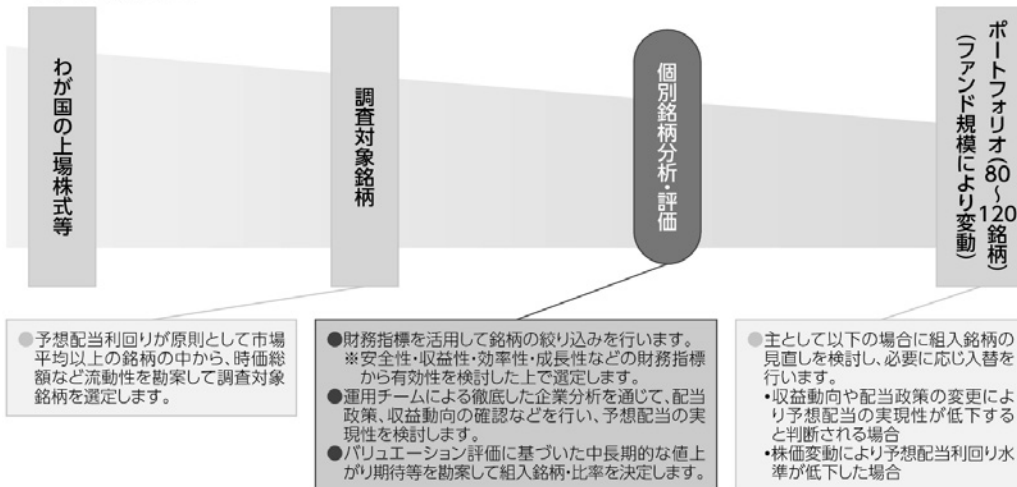
今般の運用プロセス変更は、中長期的な運用成果のさらなる改善と向上のために行うものです。現行の運用プロセスに財務指標を活用した銘柄の絞り込みを追加することで、財務余力の大きい企業の増配余地を捉える可能性が高まり、今後の運用パフォーマンス向上につながると考えています。なお、運用プロセス変更に伴い、当ファンドが追求する「高水準の配当収入」と「中長期的な株価の値上がり益」の獲得をめざすという基本方針が変わることはございません。運用プロセス変更により、これまで以上に高いパフォーマンス獲得をめざしてまいります。

### 変更内容

三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定成長型）が投資対象とするマザーファンドについて、運用プロセスを下記の通り変更予定です。（目論見書に<組入銘柄選定プロセスについて>の記載はございません。）

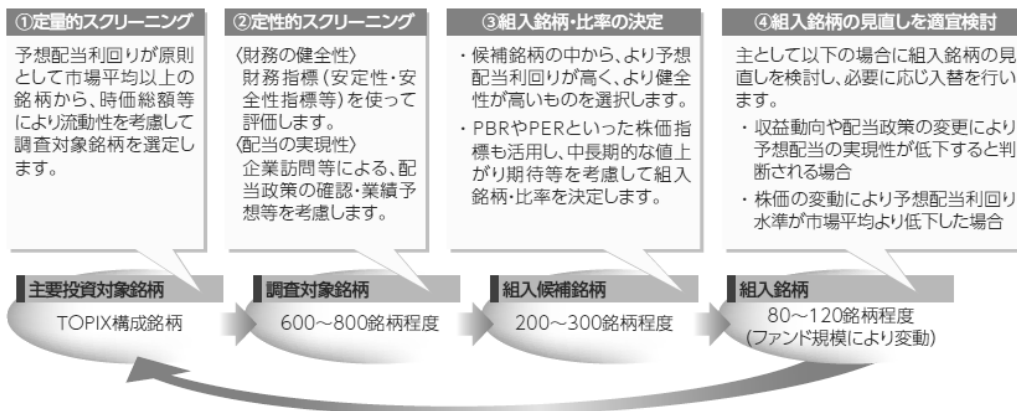
**【変更後】**

<組入銘柄選定プロセスについて>



**【変更前】**

<組入銘柄選定プロセスについて>



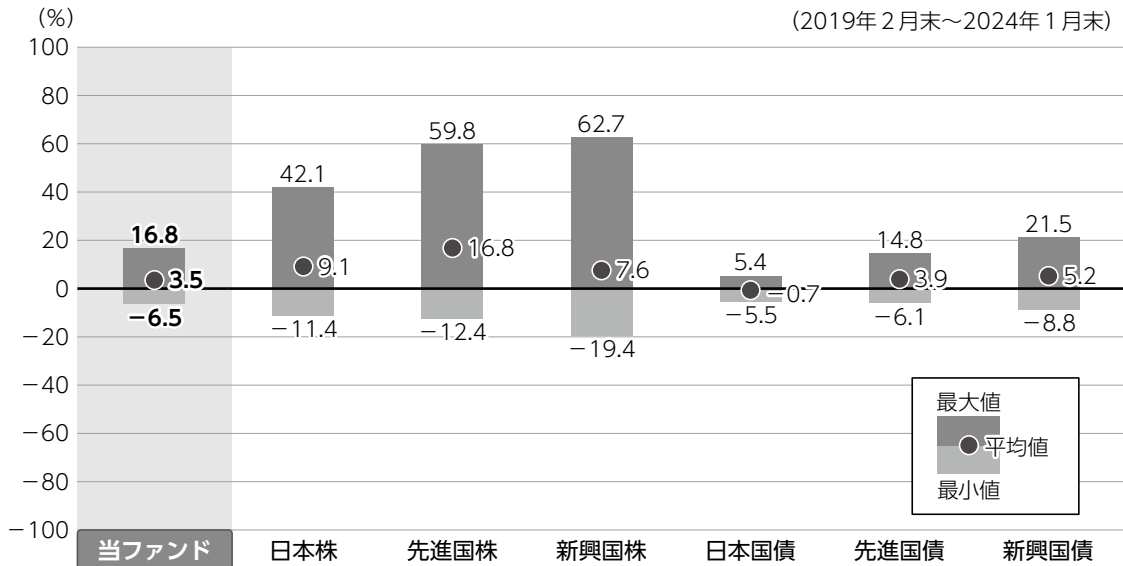
以上

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2025年2月5日まで (2015年2月20日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式、債券ならびに不動産投資信託証券、商品（コモディティ）、およびヘッジファンド等のオルタナティブ資産に実質的な投資を行います。運用につきましては、安定性と収益性のバランスを重視します。投資対象とする投資信託証券については、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。また、各投資信託証券の組入比率は適宜見直しを行います。投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行う場合があります。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界各国の株式、債券ならびに不動産投資信託証券、商品（コモディティ）、およびヘッジファンド等のオルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年2月から2024年1月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2024年2月5日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：36銘柄)

ファンド名	第9期末 2024年2月5日
三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	9.5%
外国株式インデックスマザーファンド	8.9%
TOPIXマザーファンド	7.7%
外国債券インデックスマザーファンド	6.6%
ショートデュレーション円インカムマザーファンド	6.0%
日本債券インデックスマザーファンド	5.4%
グローバル社債ファンド T (適格機関投資家専用)	3.6%
日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	3.5%
好配当海外株マザーファンド	3.5%
日本株インカム・マザーファンド	3.3%
マッコーリーグローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり> (FOFs用) (適格機関投資家限定)	3.3%
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション	2.9%
クオリティ企業厳選投資日本株マザーファンド (ESG)	2.6%
MUJ ジャジメンタルL/S 「バランス型」ファンド1 (適格機関投資家向け)	2.6%
先進国株式クオリティ・インデックスマザーファンド	2.5%
MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド	2.4%
グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)	2.2%
日本株式最小分散インデックスマザーファンド	2.2%
MUAM G-R E I Tマザーファンド	2.1%
東証REIT指数マザーファンド	1.9%
先進国株式最小分散インデックスマザーファンド	1.8%
日本・小型株・ファンド・マザーファンド	1.4%
ジャパン・アクティブ・マザーファンド	1.2%
三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド	1.2%
日本株ESGアクティブマザーファンド	1.1%
コモディティインデックスマザーファンド	1.0%
先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	1.0%
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	1.0%
ジャパンESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド	0.9%
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスB・JPY・アキュムレーション	0.9%
先進国株式ESGインデックスマザーファンド	0.7%
JPX日経400インデックスマザーファンド	0.7%
スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンドークラスⅢ・JPY・アキュムレーション	0.6%
海外債券マザーファンド	0.6%
先進国高格付国債マザーファンド	0.4%
新興国債券インデックスマザーファンド	0.4%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する実質組入比率です。

※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

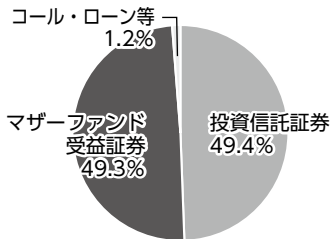
## 純資産等

項目	第9期末 2024年2月5日
純資産総額 (円)	4,172,639,181
受益権口数 (口)	3,221,390,885
1万口当たり基準価額 (円)	12,953

※当期中において追加設定元本は52,665,348円  
同解約元本は 447,549,119円です。

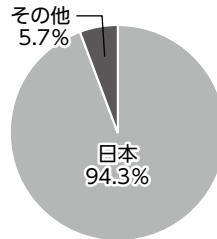
## 種別構成等

資産別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

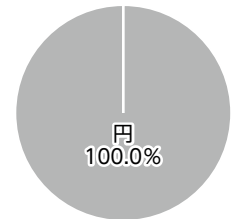
国・地域別配分



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

通貨別配分





591201

2023年2月15日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

## 基準価額の推移

2022年2月15日～2023年2月15日



## 1万口当たりの費用明細

2022年2月16日～2023年2月15日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	0	0.000
( 保管費用 )	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、14,232円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：131銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	第348回利付国債(10年)	債券	日本	国債	3.2
2	第360回利付国債(10年)	債券	日本	国債	2.8
3	第350回利付国債(10年)	債券	日本	国債	2.3
4	第351回利付国債(10年)	債券	日本	国債	2.1
5	第354回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.8
6	第369回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.7
7	第176回利付国債(20年)	債券	日本	国債	1.5
8	第182回利付国債(20年)	債券	日本	国債	1.4
9	第166回利付国債(20年)	債券	日本	国債	1.4
10	第150回利付国債(20年)	債券	日本	国債	1.4

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

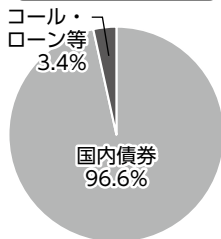
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用

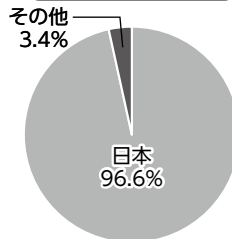
報告書(全体版)をご覧ください。

## 種別構成等

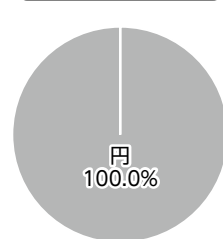
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

968364

2023年5月12日現在

## 組入上位ファンドの概要

### 外国株式インデックスマザーファンド

#### 基準価額の推移

2022年5月12日～2023年5月12日



#### 1万口当たりの費用明細

2022年5月13日～2023年5月12日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	1	0.002
(株 式)	(0)	(0.001)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(1)	(0.002)
(b)有価証券取引税	7	0.014
(株 式)	(7)	(0.014)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c)その他費用	10	0.020
(保管費用)	(9)	(0.020)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	18	0.036

期中の平均基準価額は、46,707円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1,272銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.2
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1
3	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	1.9
4	NVIDIA CORP	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.3
5	ALPHABET INC-CL A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.3
6	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.2
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.0
8	TESLA INC	株式	アメリカ	自動車・自動車部品	0.9
9	UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	0.9
10	EXXON MOBIL CORP	株式	アメリカ	エネルギー	0.8

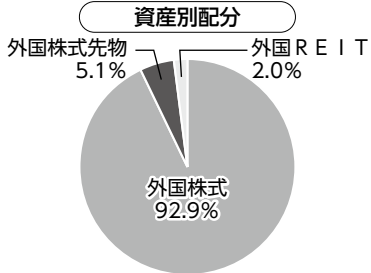
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※R E I Tを含めて表示しています。

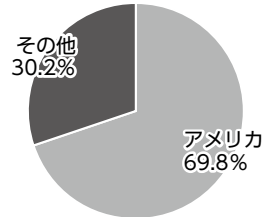
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

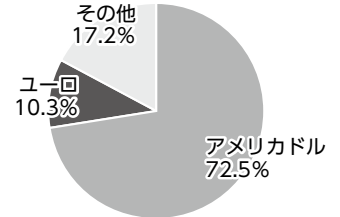
## 種別構成等



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

968294

2023年3月27日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ TOPIXマザーファンド

## 基準価額の推移

2022年3月25日～2023年3月27日



## 1万口当たりの費用明細

2022年3月26日～2023年3月27日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	0	0.001
(株 式)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、22,682円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2,162銘柄)

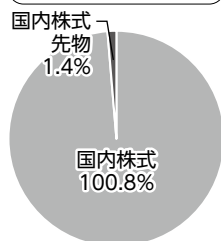
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	トヨタ自動車	株式	日本	輸送用機器	3.5
2	ソニーグループ	株式	日本	電気機器	2.9
3	キーエンス	株式	日本	電気機器	2.2
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	株式	日本	銀行業	1.8
5	日本電信電話	株式	日本	情報・通信業	1.8
6	第一三共	株式	日本	医薬品	1.5
7	武田薬品工業	株式	日本	医薬品	1.4
8	三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	1.3
9	信越化学工業	株式	日本	化学	1.2
10	東京エレクトロン	株式	日本	電気機器	1.2

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示していません。

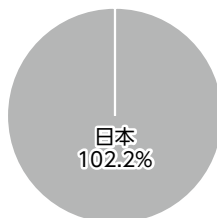
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) をご覧ください。

## 種別構成等

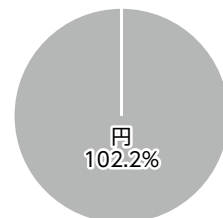
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類していません。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示していません。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント